

志賀直哉旧居高畑サロン(2026 年後期)

第 91 回 《『源氏物語』を読む—空蟬巻(2)—》

2026 年 10 月 7 日(水) 13:30~15:30 講師 鍵本有理 奈良学園大学人間教育学部准教授

平安時代に書かれた、日本の代表的な古典『源氏物語』。前期に引き続き「空蟬巻」の後半部分から、名場面を取り上げます。空蟬の代わりに軒端菰(のきばのおぎ)という女性と情を交わした源氏は、二条院に戻ってからも空蟬への思いを断ちがたく、空蟬の着ていた衣を大切に持っています。一方、空蟬は源氏からの求愛の歌に、人妻であるわが身を憂い、煩悶します。巻名の由来になっている和歌についても原文で読んでみましょう。

第 92 回 《「高畑サロンの風景・ひとびと〜小川晴暁の写真より」》

2026 年 10 月 27 日(火) 13:30~15:30 講師 小川光太郎 奈良飛鳥園社長

高畑界隈の風土を好んだ志賀直哉は奈良公園をよく散策し、そのコースにあった奈良帝室博物館(現奈良国立博物館)の北向い側に仏像写真専門店の飛鳥園がありました。飛鳥園を創業した小川晴暁は大正 11 年、歌人、書家であった會津八一と出会い、仏像の撮影を始めましたが、志賀はよく飛鳥園を尋ね、また小川も志賀家を訪問し、交流を深めていったようです。小川が撮った高畑サロンの記念写真など、ここに集い交流した人々や風景の写真をご紹介していきたいと思います。

第 93 回 《高齢者の転倒予防〜脳を使って楽しく運動をしましょう〜》

2026 年 11 月 9 日(月) 13:30~15:30 講師 藤田信子 奈良学園大学保健医療学部教授

働く高齢者の活躍が促進される一方、作業現場では「転倒」や「腰痛」など労働災害が増加しています。ちょっとした躓きによる「転倒」は、高齢者にとって大きな怪我を招くことに繋がります。その原因として加齢に伴って筋力やバランスが低下する以外に、脳の機能低下が関連していることがわかっています。本講座では高齢者の「転倒」の現状と原因を学ぶとともに、「転倒」を予防するための脳を使った簡単な運動を楽しく実践していただきたいと思います。

第 94 回 《名人石工丹波佐吉の石仏—大師山と観音山》

2026 年 12 月 5 日(土) 13:30~15:30 講師 磯邊ゆう 奈良学園大学特別客員教授

丹波佐吉は幕末に活躍した石工です。独特の狛犬で知られていますが、石仏も多く残しています。中でも集中しているのが奈良県宇陀市大師山四国八十八カ所石仏群(佐吉三十代後半)と三重県亀山市観音山西国三十三所巡り石仏群(推定四十代)です。この二群の石仏の細部に見られる変化から、佐吉の制作姿勢やこだわりを見て取れます。そして、観音山には究極の石仏があります。間にある大和郡山市松尾寺楊谷観音も加えて、他にない石造物を求め続けた佐吉の努力と達成について考えていこうと思います。

◆参加費	各回 500 円 入館料込 (奈良学園教職員、在籍者は無料です)
◆定 員	各回 25 名(事前申込先着順) ※定員になり次第、申込を締め切ります
◆会 場	志賀直哉旧居(奈良学園セミナーハウス) 奈良市高畑町 1237-2
◆申 込	志賀直哉旧居(0742-26-6490) (seminar@naragakuen.jp) にお申し込みください
◆主 催	学校法人奈良学園志賀直哉旧居(奈良学園セミナーハウス)



志賀直哉旧居 HP



R8(2026)年度 白樺サロンの会 志賀直哉旧居特別講座

古都奈良は今なおわれわれを美的世界へと誘います。この講座では、古都奈良が今日に伝えた遺産と、今にみる文学作品や美術について、その魅力を語ります。

古都の美と、近代の文学とを、ともに鑑賞しながら、志賀旧居講座の午後を心ゆくまで味わって頂きたいと思います。

古今東西の文学の世界から 今 人間を考えてみる

10月19日(月) 14時～15時30分

「昭和100年企画 新収蔵記念／生誕140年 富本憲吉と昭和」

飯島礼子 奈良県立美術館 指導学芸員

9月19日から11月15日まで奈良県立美術館で開催する展示「富本憲吉と昭和」にちなんで、出品作品を紹介します。

また昭和時代の富本の作品と活動に注目し、時代的な背景を考察することを試みます。

11月16日(月) 14時～15時30分

「フェノロサ、ビゲロー、町田久成と日本美術」

平瀬礼太 美術史家 愛知県美術館館長

明治日本美術の再興に大きな役割を果たしたフェノロサとビゲロー、そして東京国立博物館初代館長で博物館の父と言われる町田久成の墓が関西にあるのをご存じでしょうか。3人とも奈良をはじめとする日本の文化財再発見に貢献した共通性がありますが、3人を結び付けたのは実は仏教でした。同じ墓地に眠る彼らの、あまり知られていない関りを紹介します。

12月21日(月) 14時～15時30分

「池田小菊『帰る日』を読む」

吉川仁子 奈良女子大学文学部准教授

志賀直哉に師事した作家・池田小菊は、奈良女子高等師範学校附属小学校の訓導でしたが、志賀のもとで作家修行に専念し、芥川賞の候補になったこともあります。戦後は、婦人会活動でも活躍しました。奈良ゆかりの作家である小菊を紹介するとともに、彼女の出世作で、『朝日新聞』に連載された『帰る日』を取り上げます。奈良を舞台にした恋愛小説であるこの作品と一緒に読んでみましょう。

<参加費>各回 500円 入館料込 定員 25名(申込先着順)

<申込先>学校法人奈良学園セミナーハウス志賀直哉旧居

奈良市高畑町 1237-2

TEL/FAX : 0742-26-6490

E-mail : seminar@naragakuen.jp



志賀直哉旧居

検索